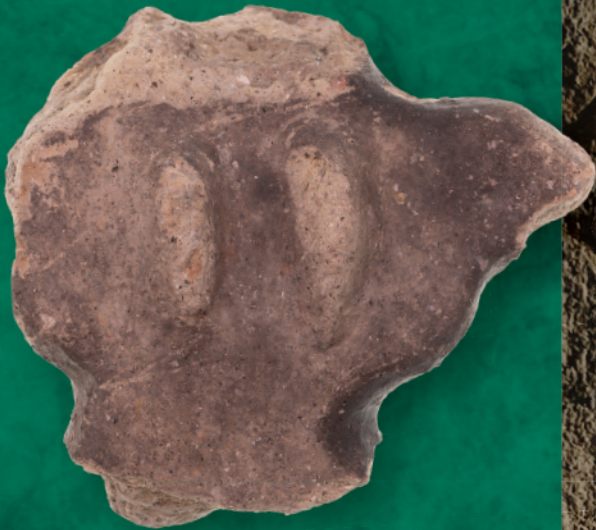


埋文講演会

かたち が映す こころ

— 古代人物造形研究のいま —

参加無料



上から:

古戸遺跡(大分県立埋蔵文化財センター所蔵)

三和教田遺跡(大分県立埋蔵文化財センター所蔵)

高畑遺跡(大分県立中津南高等学校所蔵)



上から:

石原貝塚(宇佐市教育委員会所蔵)

大勢遺跡(中津市教育委員会所蔵)

令和7年

11月8日(土)13:00~16:00

会場 平和市民公園能楽堂(大分市牧緑町1-30)

主催 大分県立埋蔵文化財センター

定員 250名(事前申込不要・参加無料)

講演1 日本古代のイレズミを追って

講師 設楽博己氏(東京大学名誉教授)

講演2 「ひとのかたち」の誕生と展開ー旧石器時代から縄文時代ー

講師 松本直子氏(岡山大学文明動態学研究所副所長/教授)



- 自家用車では、大分駅から滝尾橋ルートで約10分。
 - バスでお越しの際は、(大分駅前(6)番乗り場) 大分バス「一里塚」行きで14分、「牧」バス停下車、徒歩2分。
 - JRでお越しの場合は、日豊本線 牧駅下車、徒歩6分。
- ※ 大型バス駐車可能、普通車150台程度駐車可能。



HP



Instagram



Facebook

かたちが映すところ

－古代人物造形研究のいま－



本講演会では、人物形象品をはじめとした考古資料の造形研究を専門とする考古学者を講師に迎え、大分県内外の「ひと」を模した遺物の多様な事例と最新の研究動向を紹介します。講演では、発掘調査での出土事例をもとに、考古資料のもつ学術的価値についてわかりやすく解説します。

スケジュール 会場：平和市民公園能楽堂(大分市牧緑町1-30)

- 12:00～12:50 入場受付
- 13:00～13:10 開会挨拶・日程説明・諸連絡
- 13:10～14:20 講演1|設楽博己氏(東京大学名誉教授)「日本古代のイレズミを追って」
- 14:20～14:30 休憩
- 14:30～15:40 講演2|松本直子氏(岡山大学教授)「ひとのかたち」の誕生と展開－旧石器時代から縄文時代－
- 15:40～15:55 討論・質疑応答
- 15:55～16:00 閉会挨拶

*都合により講演内容は変更になる場合があります。

講演1 日本古代のイレズミを追って



【講師】

東京大学名誉教授

設楽 博己氏

1956(昭和31)年、群馬県生まれ。静岡大学を卒業後、国立歴史民俗博物館や駒澤大学を経て、東京大学で教鞭を執った。博士(文学)。現在東京大学名誉教授。専門は日本考古学。縄文時代から弥生時代の社会構造を中心に、とくに弥生再葬墓など葬送儀礼の研究を行っている。ほかに、土偶や「顔」造形の表現、農耕文化の形成などのテーマに積極的に取り組んでいる。

主な著書

- ・『弥生再葬墓と社会』(塙書房、2008年)
- ・『弥生文化形成論』(塙書房、2017年)
- ・『顔の考古学－異形の精神史』(吉川弘文館、2021年)

講演2 「ひとのかたち」の誕生と展開－旧石器時代から縄文時代－



【講師】

岡山大学

文明動態学研究所副所長/教授

松本 直子氏

1968(昭和43)年、福岡県生まれ。九州大学を卒業後、同大学院を経て現在岡山大学文明動態学研究所で教授として活動する。博士(文学)。専門は認知考古学やジェンダー考古学。縄文時代を中心としながら、土器様式の地域差や土偶の人体表現などからみる心理的印象の研究に取り組んでいる。ほかに、人口動態・文化変化の関係性や暴力・戦争の発生など幅広くテーマを持つ。

主な著書

- ・『認知考古学の理論と実践的研究』(九州大学出版会、2000年)
- ・『縄文のムラと社会』(岩波書店、2005年)
- ・『認知考古学とは何か』(共編著、青木書店、2003年)

「このチラシは令和7年度文化庁「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業」の補助を受け作成しました。



大分県立埋蔵文化財センター

休館日 年末年始(12/28～1/4)・月曜日
※月曜日が祝日と重なった場合は、翌平日を休館とする

利用時間 9:00～17:00(入館は16:30まで) **入館料** 無料

TEL:097-552-0077 FAX:097-552-0700

〒870-0152 大分県大分市牧緑町1-61

<https://www.pref.oita.jp/site/maizobunka/>



レキシカくん マイカちゃん
オリジナルキャラクター

考える!
読み解く!

豊の国考古館

探る!
発見する!

BVNGO大友資料館

遊ぶ!
感じる!

歴史体験学習館